



図書館員のオススメ

「ヤクーバとライオン  
I 勇気」

ティエリー・デデュー／著

この絵本のテーマは「勇気」。そのテーマにふさわしく真っ黒く力強い線で描かれた絵。「いのち」を考え、本当の「勇気」とは何かを問いかけています。

大人から子どもに読み継いでほしい一冊です。



私の好きな本

「80年代子ども大図鑑」

出版社／宝島社

当時子どもだった僕には、とても懐かしいおもちゃなどが紹介されています。ゲームウオッチやファミコン、ガンプラなど爆発的大ヒットになっていましたね。自由研究で使った青と赤の謎の液体と注射器がついた昆虫採取セットなんでものもの… (M・Sさん)



～お知らせ～

鹿追町図書館では、定期的に絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。毎月第1・3水曜日には、ボランティアサークル「もみじ」さんによる“おはなし会”。毎月第2・4土曜日には、図書館職員による“おはなしどんどん”があります。自分で読むのとはまた違う楽しさがあります。一度遊びに来てください。

■ 10月の予定

- ・おはなし会：3日・17日  
午前10時30分～11時
- ・おはなしどんどん：13日・27日  
午前10時～11時、午後2時～3時  
どちらも図書館内カウンター横、絵本の部屋にて行っています。

～レファレンスサービス～

～調べもの、探しもの、お手伝いします～

図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによって助ける業務のことを「レファレンスサービス」といいます。

鹿追町図書館でも、できる限りのお手伝いをします。お気軽に声をおかけください。



秋の恵み

～ 然別湖の住人も

『食欲の秋』～

秋 風が吹くと、なぜだかお腹が空く。辺りを見渡すと真っ赤に熟した実や、川には湖から丸々と太った魚がやって来ている。どれもおいしそうなものばかり、これはいかに食べるしかない。ヒトも動物も鳥もこの心理は共通ではないでしょうか。



木の実を頬べるエゾシマリス

し埋めたり、巣穴に持ち帰ったり、一つでも多くのドングリを確保しようとせわしなく走り回っています。



風穴へ食料を運ぶナキウサギ

励む姿に、「ああ、忙しい忙しい」と言う彼らの声が聞こえてきそうです。

リスやナキウサギの森に、紅葉・黄葉を透かして差し込む陽光が優しく降り注ぎます。

多少体重が増加してしまっても、この旬の食材たちを食べないのは人生を楽しんでいないような気がします。だって山や川には秋の恵みが溢れているのですから。

ヒグマは冬ごもりを前に皮下脂肪をたくさんつけなければなりません。ドングリに山ブドウ、キノコなどなんでも食べます。ムシヤムシヤ食べます。

野生動物は本能で秋の恵みを体に蓄え、来たる長く厳しい冬に備えています。冬を遠く南の地で過ごす鳥たちは、長距離を飛び続ける長旅に備えるためでもあります。

葉樹のミズナラが落とすドングリにエゾリスやヒグマ、野ネズミが我先にと拾い集め一心不乱に食べています。エゾリスや野ネズミは、冬に備えて地面の中に隠

るのです。草場から巣穴まで何往復と行き来し、たまに立ち止まっては『ピチッ』と一鳴きして空を眺め、また保存食作り

川 の畔の紅葉を映したかのようにお腹の色を真っ赤に染めたその姿、然別湖に注ぐヤンベツ川には、湖を回遊していた「ミヤベイワナ(オシロコマの亜種)」が、産卵のために遡上しています。

あ10月の終わりには初雪が舞うでしょう。

冬はもうそこまで来ています。寒さに負けない身体を今のうちに作っておきましょう。人間も野生動物も同じように。



遡上するオシロコマ(ミヤベイワナ)

に思わず見入ってしまいます。